

# やまなし探究シンポジウム

～全公立高校の魅力ある学びの祭典～

## 実施要項 (案)

1 主 催 山梨県教育委員会

2 運 営 やまなし探究シンポジウム運営委員会  
〇〇〇〇 (受託者)

3 後 援 〇〇〇〇

### 4 目 的

- (1) 各校における探究的な学びの成果を発表・交流することで、公立高校生の探究的な学びを一層洗練させ、各校の学びの質の向上及び学校間の有機的な結びつきを構築し、全公立高校の魅力向上を図る。
- (2) 公立高校の学びの魅力を中学生及びその保護者、企業、大学、社会人等に広く周知し、公立高校の魅力の発信の場とする。
- (3) 中学生等が公立高校の探究的な学びの内容を具体的に知り、高校進学後の探究学習をイメージすると同時に進路情報を得ることで、今後の主体的な進路選択を促進する。

### 5 開催日時

令和8年7月20日(月) 9:30～16:30  
(前日13:00～17:00準備)

### 6 開催想定場所

アイメッセ山梨 〒400-0055 山梨県甲府市大津町 2192-8 TEL055-243-1888

### 7 内 容 (※詳細は別紙1を参照、各エリアは別紙2の会場概略図を参照)

#### (1) プレゼンテーション

「スクールエリア」の各学校ブースで、各校の生徒が各校の魅力ある学びをプレゼンテーションする。ポスターやスライド等によるプレゼンや制作物の展示や体験企画などを各ブースで催す。

#### (2) ポスターセッション

「ポスターエリア」にて、コアタイムに全県立高校からの探究的な学びのポスター発表を各高校の生徒が行う(各校5～10本程度で、定通制のみ設置の学校はこの限りではない)。

#### (3) 探究ダイアログ (以下、ダイアログ)

「対話エリア」にて各学校の代表1本(チームでも個人でも可)を、4グループ(1グループ7～

8チームまたは個人)に分け、それぞれのグループ内で探究成果や経過をスライド発表する。発表後、グループ内で参加生徒・教師・講師等による意見交換を行う。

(4) 記念講演会 (以下、講演会と記す) [社会教育課主催]

大学の先生等による記念講演会を「対話エリア」で午後で開催する。

(5) 個別進路相談会

「ガイダンスエリア」の各学校の進路相談デスクにて、各高校の教員および高校生による個別の進路相談を行う。相談は当日発券のチケット制とする。

8 当日日程

《7月20日(月)》

8:30~9:30 参加者準備

9:30~ 来場者受付

9:30~ 開始 (プレゼンテーション、ポスターセッション、個別進路相談会)

10:00~12:00 探究ダイアログ

14:00~15:30 記念講演

16:00 終了 (プレゼンテーション・ポスターセッション・個別進路相談会)

16:00~16:30 片付け

16:30 解散

※ 参加者は、学校ごとの指示で昼食は適宜とる。昼食は各自で用意する。

※ 昼食場所は、交流サロンおよび大会議室とする。

	スクールエリア (各校ブース)	ポスターエリア	対話エリア	ガイダンスエリア (各校デスク)
8:30	参加者準備			
9:30	来場者受付開始			
10:00	プレゼンテーション	ポスターセッション	10:00	個別進路相談会
12:00			ダイアログ	
			中高生PBL	
14:00			講演会	
16:00			15:30	
	片付け			
16:30	終了			

ポスターセッション			
時間	第1グループ コアタイム	第2グループ コアタイム	第3グループ コアタイム
9:00	準備		
9:30	9:30~10:10 (40分)	9:30~10:50 (80分)	10:10~11:30 (80分)
10:00			
11:00	11:10~12:30 (80分)	探究ダイアログ	
12:00			
13:00	13:20~14:00 (40分)	12:00~13:20 (80分)	12:30~13:50 (80分)
14:00			
15:00	記念講演会へ参加		
16:00	15:30~16:00(30分) 発表・見学 いずれも可		
16:30	片付け		

## 9 参加者および来場者

### (1) 参加者

- ・公立高校生徒
  - ①各校の学校ブースでプレゼンテーションする生徒
  - ②ポスターセッションでポスター発表する生徒
  - ③ダイアログに参加する生徒
  - ④個別進路相談会で中学生や保護者の相談に応じる生徒（任意）
- ・公立高校の教職員
  - ①プレゼンテーションやポスター発表の引率教職員
  - ②個別進路相談会で中学生や保護者の相談に応じる教職員
  - ③運営指導委員の教職員
- ・探究ダイアログのアドバイザー（大学教授等）
- ・記念講演の講師
- ・運営指導委員
- ・運営スタッフ（受託業者）

### (2) 来場者

- ・参加者（発表者）以外の一般の高校生および教職員
- ・中学生とその保護者、小・中学校の教職員
- ・大学、企業、その他一般の社会人や地域の方

## 10 参加および来場の申込について

### (1) 参加者の申込

プレゼンテーション、ポスターセッション、ダイアログに参加する生徒および引率教員、進路相談教員について、参加者名簿（様式3）を7月10日（金）正午までに事務局へメールで提出すること。

### (2) 来場者の申込

事前に配布するチラシ等に掲載してある二次元コード（QRコード）より、7月17日（金）までに各自で申込をする。来場者は、入口で受付を済ませて入場する。

## 11 準備・運営組織（組織図）

### (1) 運営委員会

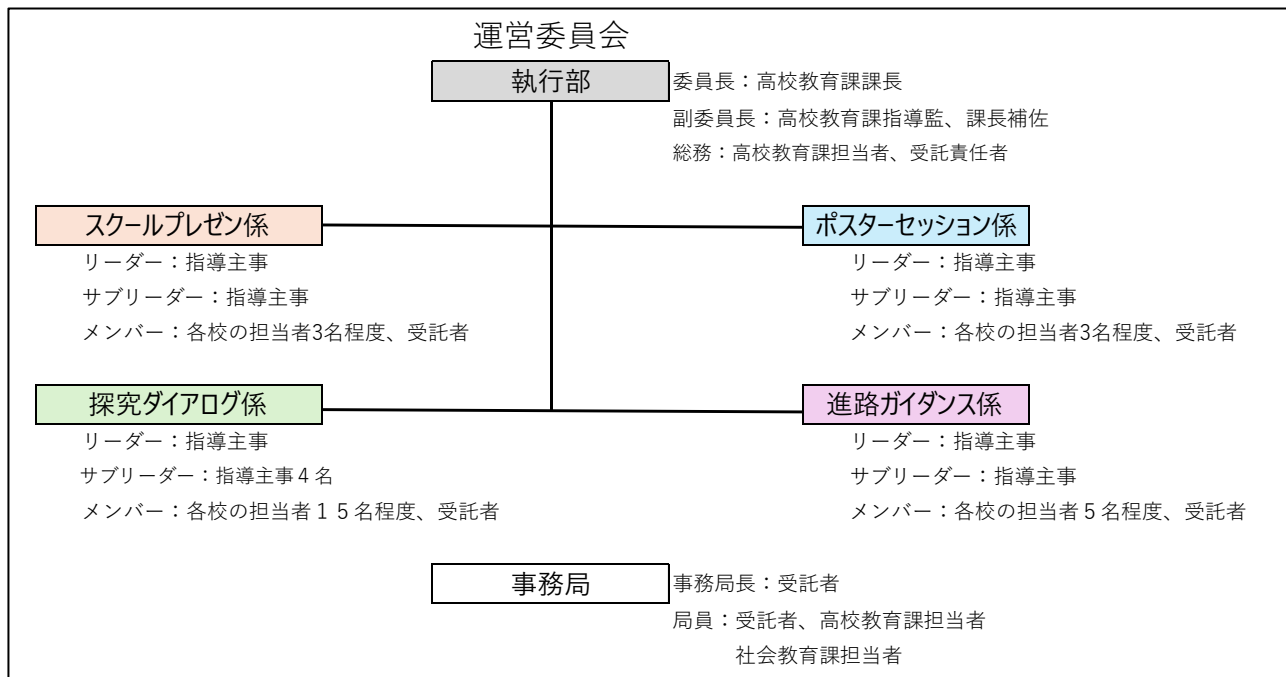
- ・準備運営のための運営委員会を設置する。
- ・運営委員会の構成員は、山梨県教育庁、県立高校担当者（複数課程ある高校は、各課程からの担当者）、受託者等とする。
- ・運営委員会の開催は、5月～7月、9月の各月1回程度とする。

### (2) 事務局

- ・受託業者は、シンポジウム開催のための事務局を置く。
- ・事務局の構成員は受託者および本県教育庁担当者等とする。

- ・運営委員会の開催のために、事務局は事務局会議を開催する。

(組織図)



## 1.2 全体スケジュール

令和8年5月25日(月) 第1回事務局会議 (防災新館 202会議室)

5月27日(水) 第1回運営委員会 (総合教育センター 第3研修室)

5月28日(木)～6月30日(火)

ポスター申込期間、ダイアログ申込期間

6月12日(金) 第2回事務局会議 (防災新館 202会議室)

6月22日(月) 第2回運営委員会 (総合教育センター 第3研修室)

7月3日(金) 第3回事務局会議 (防災新館 202会議室)

7月10日(金) 第3回運営委員会 (総合教育センター 第3研修室)

参加者名簿提出締切

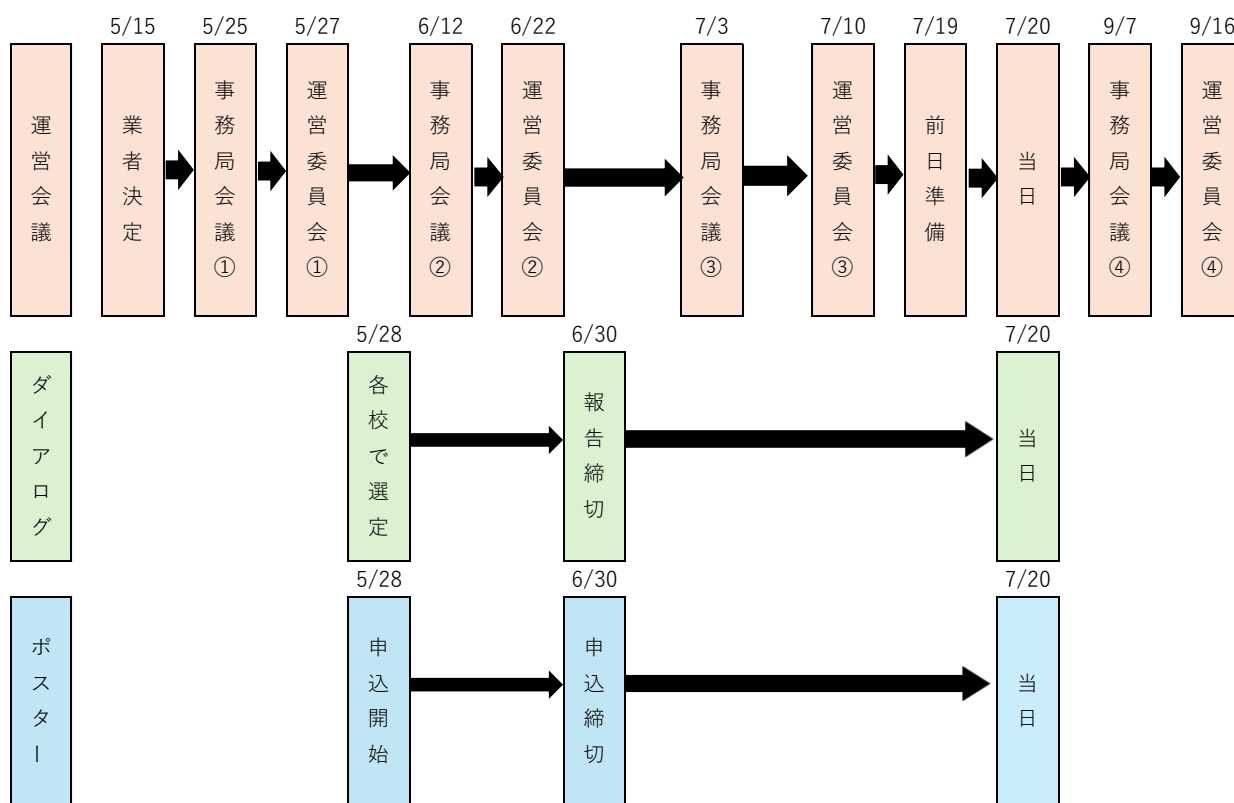
7月17日(金) 来場者申込締切

7月19日(日) 13:00～17:00 業者による会場設営

**7月20日(月) 当日 やまなし探究シンポジウム**

9月7日(月) 第4回事務局会議 (防災新館 202会議室)

9月16日(水) 第4回運営委員会 (総合教育センター 第3研修室)



### 1.3 輸送

- ・各校の参加者は、各校で配車計画を行う。
- ・受託者は、来場者のための臨時無料バスを配車する。
- ・臨時無料バスの運行区間と運行時刻は以下の通りとする。

(1) 運行区間：富士山駅～アイメッセ

運行時刻：〔富士山駅〕 → 〔アイメッセ〕	〔アイメッセ〕 → 〔富士山駅〕
8 : 3 0 → 9 : 3 0	1 1 : 5 0 → 1 2 : 5 0
1 3 : 0 0 → 1 4 : 0 0	1 6 : 0 0 → 1 7 : 0 0

(2) 運行区間：甲府駅～アイメッセ

運行時刻：〔甲府駅〕 → 〔アイメッセ〕	〔アイメッセ〕 → 〔甲府駅〕
9 : 0 0 → 9 : 3 0	1 2 : 3 0 → 1 3 : 0 0
1 3 : 1 5 → 1 3 : 4 5	1 6 : 0 0 → 1 6 : 3 0

### 1.4 非常変災時等の対応について

- (1) 受託者は、シンポジウム開催中に地震・火災・暴風雨などの非常変災が発生した場合、参加者の安全を最優先に対応する。具体的には、以下の措置を講じる。

①対応マニュアルの整備

受託者は非常変災時の対応マニュアルを事前に作成し、運営スタッフ及び各高校に周知する。

②避難誘導

非常変災発生時には、運営スタッフが責任をもって避難誘導を行い、指定避難場所への移動を指示する。

③関係機関との連携

必要に応じて、消防・警察・医療機関などの関係機関と連携し、迅速な対応を図る。

④情報提供

非常変災発生時には、会場内アナウンスや掲示により、参加者へ適切な情報を提供する。

(2) 受託者は看護師を1名配置し、応急処置を行う。

(3) 受託者は駐車場警備を2名配置し、構内の駐車場の警備にあたる。

(4) 参加者の安全確保のため、主催者はイベント開催期間中における事故に備え、イベント保険に加入する。保険の適用範囲や補償内容については、主催者が定める保険契約に基づく。なお、保険の対象外となる事由や補償の詳細については、別途お問い合わせください。

## 1.5 その他

(1) 参加者および来場者の出入口は、防犯上1カ所とする（別紙2）。ただし、非常時はこの限りではない。

(2) 当日の参加者および来場者の撮影は一切禁止する。ただし、各校での自校の生徒発表の撮影は、引率教員のみ許可する。その場合、引率教員は自校のネームホルダーを身につけること。また、他校の生徒を撮影しないこと。

(3) 当日は、運営者が、記録のために動画や写真を撮影する。運営者による撮影に関して承諾できない生徒や教師が参加する場合は、事前に事務局へ連絡すること。

(4) 当日、報道による取材や撮影に承諾できない生徒や教師がいる場合は、事前に事務局へ連絡すること。

(5) 貴重品の管理は各自の責任で行うこと。

(6) 参加者は、ゴミは全て持ち帰り、使用した場所や物品は各校の責任で清掃すること。

(7) 当日は、構内に軽食（かき氷やクレープ等）のキッチンカー2～3台を配置する。

(8) シンポジウムの開催にあたり、運営者は参加者の安全確保に努めるが、開催中に発生した事故、怪我、盗難、紛失、その他のトラブルについて、主催者および運営者は一切の責任を負わない。

**【担当】** やまなし探究シンポジウム事務局

受託者 ○○○○

担当 ○○○○

〒○○ 住所○○

Tel○○

E-Mail○○

山梨県教育庁高校教育課 小澤一仁

〒400-8504 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1

Tel:055-223-1763

E-mail:ozawa-czwb@pref.yamanashi.lg.jp

## (別紙1) 内容についての詳細

### (1) プレゼンテーション

- ・プレゼンテーションする内容は各校の魅力ある探究的な学びの成果とする。ポスター等で探究的な学びの成果をプレゼンしたり、映像で紹介したり、製作物等を展示したりして各校の探究的な学びの魅力が伝わるよう工夫すること。(単に、部活動や施設設備等の学校紹介にとどまらないように留意すること)
- ・各校での成果物等の映像紹介する場合等で、音声が出る場合は、隣の学校のブースに聞こえない程度とすること。
- ・体験企画する場合は、体験者の安全に十分配慮した内容とすること。
- ・製作物等の販売や物品の授受は禁止とする。ただし、学校パンフレットや学校イベント等のフライヤーの配付は認める。
- ・飲食物の提供や販売は禁止する。火気や液体、その他危険物の使用も禁止する。
- ・各校のブースの大きさはおよそ横幅4m程度、奥行き3m程度である。
- ・複数課程がある学校についても、学校ブースは1つとする。
- ・受託者は各学校のブースに、長机2個、椅子10脚、仕切り用パネル8枚程度を準備する。準備するパネルの大きさは、1枚あたりおよそ縦1.8m×横0.9m。
- ・受託者は、2ブースに1つの割合で電源を用意する。電源を使用する学校は、必要に応じて電源からの延長コードを準備すること。
- ・プレゼンテーションに必要な機材や物品は各校で準備する。学校のぼり旗の設置は認める。
- ・プレゼンテーションする生徒の人数は各校で決めて良いが、他校との交流する時間も確保できるよう、プレゼン者を交代制にするなど工夫すること。(各校のポスターセッションや探究ダイアログや講演会にも参加できるよう工夫すること。)
- ・内容等に関して、不適切な場合は、その場で中止を申し渡すことがある。内容について確認したい場合は、事前に事務局へ問い合わせること。

### (2) ポスターセッション

- ・全体を3つにグループに分けて、それぞれ発表および見学を行う。グループ分けは、全体の申込が終了後決定して、各校へ通知する。
- ・発表時間となるコアタイムは、発表生徒が自身のポスターの前で発表する。コアタイム中は、発表を何回行っても構わない。発表時間は約5分程度として、複数回行うこと。
- ・コアタイム以外の時間帯は、他の生徒の発表を聴くこと。休憩は各自で適宜とること。
- ・コアタイムに関わらず、発表生徒が休憩やダイアログ参加のためにポスター前にいない時は、「離席POPカード」(別紙3)をパネルに掲示すること。
- ・探究的な学びに関する内容についての発表とする。探究の分野は問わない。
- ・ポスター発表の用紙はA0やB0程度のもの1枚とし、当日持参して掲示する。フォーマットは各校のものをを用いる。
- ・交流を目的とするため、審査は行わない。
- ・ポスターは、各校5～10本程度(複数課程ある学校は全課程での総数)とする。

- ・ポスター発表する生徒の人数は、各校で決めて、配置すること。
- ・申し込みはポスターセッション申込書（様式1）を6月30日（火）正午までに事務局メール（            @            ）へ各校で一括して送ること。複数課程ある学校も同様とする。

### （3）探究ダイアログ（以下、ダイアログと記す）

- ・ダイアログでは、各校の代表生徒がスライド発表をして、その内容について生徒・教師・その他参加者が対話を通して意見交換する。
- ・各校から必ず、代表1本をスライド発表すること。ただし、複数課程設置校は、課程ごとに代表を選出してもよい。その場合は、事務局に申込時にその旨を伝えること。
- ・発表の探究分野は問わない。
- ・事前に、全体を4グループ（グループA～D）に分け、それぞれのグループ内でスライド発表及び対話による意見交換を行う。
- ・1グループの構成は以下の通りとする。（    ）内はその役割を示す。
  - ・7～8校の各校からの発表者（スライド発表する）
  - ・各校の総探担当の教師（自校の発表者がいるグループに参加して意見交換に参加）
  - ・モデレーターの教師または生徒（事前に依頼した教師や生徒で、意見交換を先導）
  - ・指導主事1名（意見交換に参加）
  - ・外部の講師（大学の先生等で、探究アドバイザーとして意見交換に参加）
  - ・一般の高校生や中学生やその保護者などの来場者（聴講及び対話に参加）
- ※1グループあたりの人数は10～20名程度を想定している。
- ・参加者は、対話による意見交換の他に付箋にコメントを記載し、パネルに掲示した模造紙に貼る。発表生徒は、発表後、その模造紙を受け取り、今後の探究に活かす。
- ・各校で代表者を選定後、6月30日（金）正午までに探究ダイアログ発表申込書（様式2）を事務局メール先へ提出すること。
- ・発表時間は7分、対話による意見交換は8分の合計15分とする。
- ・スライドは、PCやタブレット等を各自持参すること。HDMIケーブルは用意するが、それ以外を用いる場合はアダプター等を各自用意する。また、wifi接続の用意はないため、オンライン上に資料を作成した場合も端末に資料を必ずダウンロードしておくこと。
- ・会場でリハーサルはできない。接続のテストは当日9：00～9：30に各グループ場所に行く。

### （4）記念講演会（以下、講演会と記す）

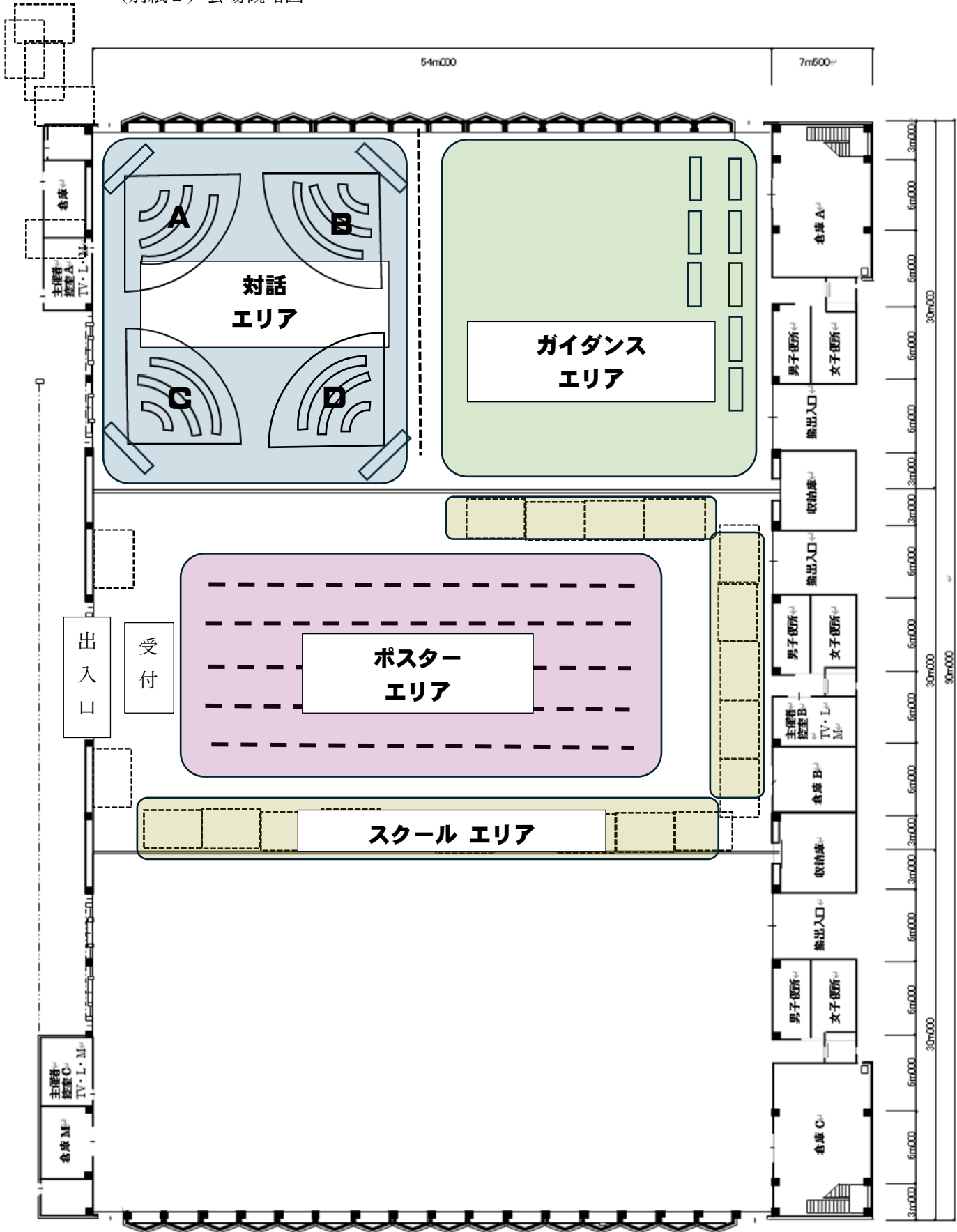
- ・講師（大学の先生等）による講演会を「対話エリア」で午後を開催する。
- ・講師は、社会教育課で選定し、依頼する。
- ・講演内容は、高校生や中学生が興味や関心をもって聴ける内容を依頼する。

### （5）個別進路相談会（以下、相談会と記す）

- ・「ガイダンスエリア」の各学校の進路相談デスクにて、各高校の教員が個別の進路相談を行う。教員と一緒に自校の生徒（高校生）が同席して相談にあたってよい。
- ・対象は、中学生およびその保護者とする。

- ・ 対応する担当教員は、複数で交代制でもよい。
- ・ 相談内容は、各校のホームページやパンフレット、学校説明会、オープンスクールで公開できる範囲とする。また、当日手渡すパンフレットやペーパー等資料の内容も同様とする。
- ・ 相談は当日発券のチケット制とする。
- ・ ガイダンスエリア入口付近に、チケット発券所を設置し、運営スタッフが「進路相談チケット」（別紙４）を発券する。
- ・ 運営スタッフが発券状況を各校の担当教員と共有し、担当教諭はチケットと同時に発券された「進路相談チケット（学校保管用）」（別紙４）に示されている時間帯に相談業務にあたる。
- ・ 相談時間は１件１５分を原則とする。しかし、前後の時間帯が空いている場合は、この限りではない。
- ・ 運営者は、長机１個と椅子数脚を各校の相談デスクに準備する。
- ・ 相談デスクは、各校毎に設置する。ただし、複数課程併設校は、課程別に設置する。

(別紙2) 会場概略図



(別紙3) ポスターセッション〔離席POPシート〕の例

**発表者は、**  
**離席中**です。

：                    頃から

**発表を再開**する予定です

(別紙4) 進路相談チケット (本人用および学校保管用) の例

**【進路相談チケット】**

★相談時間になりましたら、このチケットを各学校の相談デスクへ提示してください。

○○○○    高校                    ○○ 制

〈相談時間〉                    :                    ~                    :

**【進路相談チケット】(学校保管用)**

★以下の時間帯に相談予約が入りました。  
時間になりましたら相談業務をお願いします。

○○○○    高校                    ○○ 制

〈相談予約時間〉                    :                    ~                    :

やまなし探究シンポジウム ポスターセッション申込書

学校名	
-----	--

記載者 氏名	
--------	--

※この申込書を学校ごとにメールに添付して事務局へ提出すること。複数課程を有する場合も、この表にまとめて提出すること。

※提出先：○○○○@○○○○.jp

※提出期限：令和8年6月30日（金）

No.	タイトル	チーム名	発表者1(代表者)		発表者2		発表者3		発表者4	
			ふりがな 氏名	学年	ふりがな 氏名	学年	ふりがな 氏名	学年	ふりがな 氏名	学年
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

※発表者が5名以上の場合は、欄外に追記すること。

(様式2)

やまなし探究シンポジウム

## 探究ダイアログ 発表申込書

学校名	
-----	--

記載者 氏名	
--------	--

※学校の代表1チームをメールで事務局へ申し込むこと。複数課程併設校は、課程ごとに代表チームを申し込み可。

※提出先：○○○○@○○○○.jp

※提出期限：令和8年6月30日（火）

タイトル	分野	チーム名	発表者1 (代表者)		発表者2		発表者3		発表者4		発表者5	
			ふりがな	学年	ふりがな	学年	ふりがな	学年	ふりがな	学年	ふりがな	学年
			氏名		氏名		氏名		氏名		氏名	

●発表内容の要旨 (abstract)

--

※発表者が6名以上の場合は、シート②に追加して入力すること。

やまなし探究シンポジウム 参加者名簿（参加生徒及び教員）

学校名	
-----	--

記載者氏名	
-------	--

※この申込書を学校ごとにメールに添付して事務局へ提出すること。複数課程を有する場合も、この表にまとめて提出すること。

※提出先：○○○○@○○○○.jp

※提出期限：令和8年7月10日（金）

【参加生徒（プレゼン・ポスター・ダイアログ）】									
No.	生徒氏名	課程	学年	参加分野	No.	生徒氏名	課程	学年	参加分野
1					11				
2					12				
3					13				
4					14				
5					15				
6					16				
7					17				
8					18				
9					19				
10					20				

※参加生徒が20名以上の場合は、②のシートを使用すること。

【参加教員（引率・進路相談等）】							
No.	教員氏名	役職	業務	No.	教員氏名	役職	業務
1				6			
2				7			
3				8			
4				9			
5				10			